

7月27日発表のインドの利上げについて

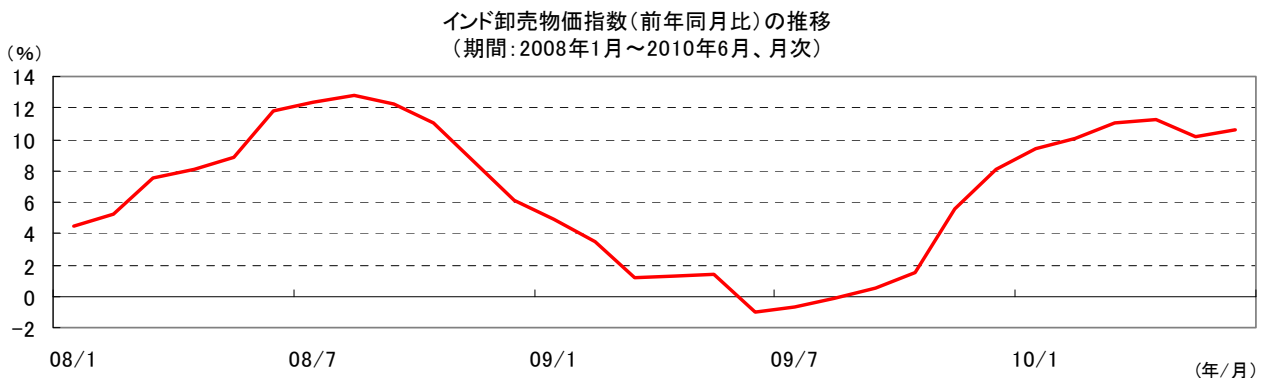
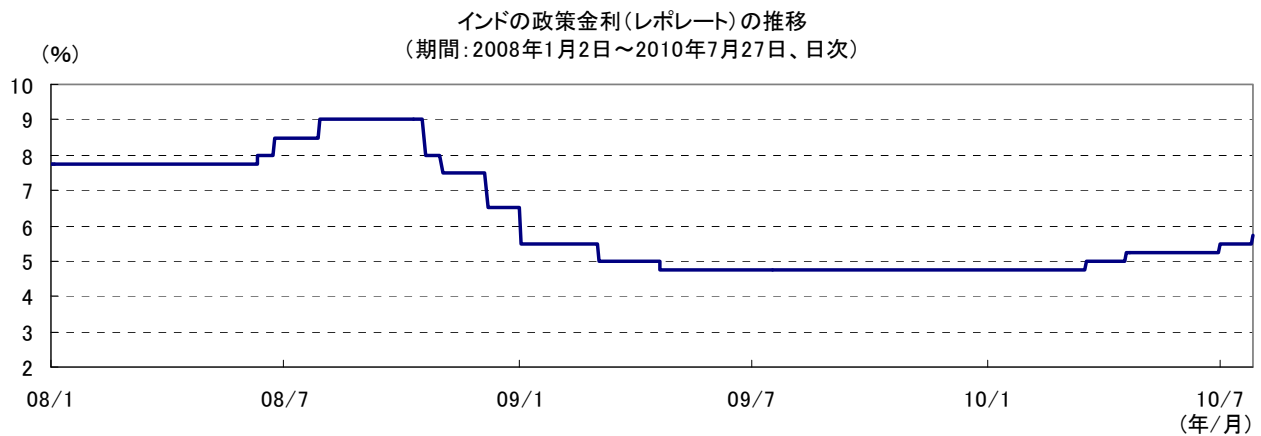
インド準備銀行(中央銀行)は7月27日に、政策金利であるレポレート(中央銀行が市中銀行に資金供給を行なう際の金利)を0.25%引き上げ、年率5.75%とすることを決定しました。今回の利上げは7月2日以来、今年に入ってから4回目の利上げとなります。

インド準備銀行は、2008年の金融危機以来、緩和的な金融政策を採り大幅な利下げを実施し、2009年4月以降はレポレートを年率4.75%の水準に据え置いてきました。その後、今年3月に入って国内インフレ率の上昇と景気回復が確認されると、金融政策の方針を転換し、断続的な利上げを行なってきました。

今回の利上げの背景としては足元のインフレ率の上昇があります。インドの卸売物価指数は今年2月から5ヵ月連続で前年同月比+10%を超え、6月は同+10.6%になりました。26日にインド準備銀行が発表したレポレートでは「持続的なインフレおよびインフレ期待を抑えるための金融政策が必要になっている」と、利上げの可能性を示唆していました。

またインド経済の堅調さも利上げの背景の一つです。インド準備銀行は2010-11年のインドの実質GDP(国内総生産)成長率見通しを8.5%とし、4月時点の予想である8%から引き上げています。

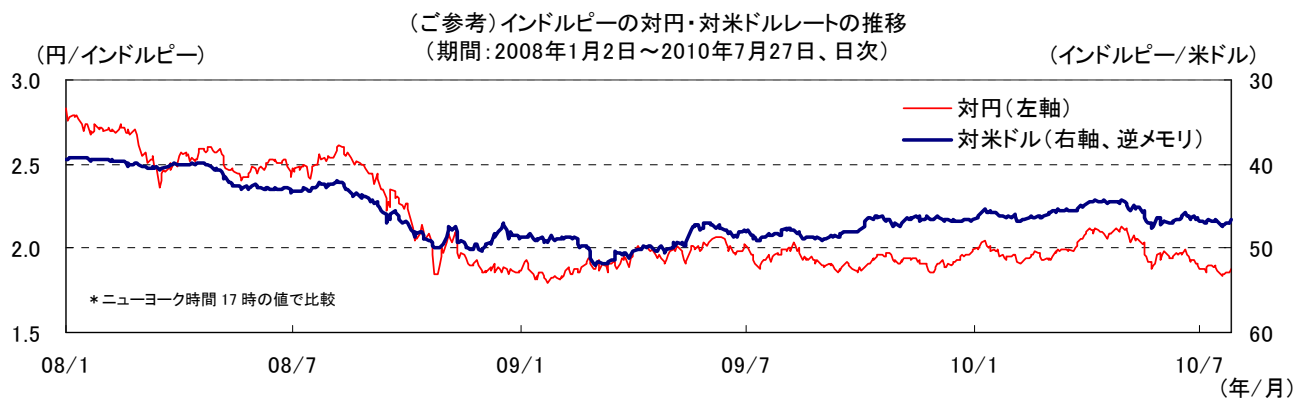
次回の金融政策決定会合は9月16日の予定です。



(出所)Bloomberg データより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。

【ご参考資料】



(出所) Bloomberg データより野村アセットマネジメント作成

以上

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。